R5.9月号 「生活支援コーディネーターの1日」

日々、地域の
いいひと
いいもの
いいところ
コーディネート中。

今回は、貝津町蛎崎地区の自主グループ活動の紹介です！

この地域は近年、公民館での活動に歩いて行くことが難しくなった高齢者が増加、地域活動への参加が減少し、自宅に閉じこもってしまう心配が高まっていました。
真津山地区「語らん場」にて“集いの場”の効果や必要性を理解し、地域包括支援センターもお手伝いしながら、地域住民（発起人・サポーター等）により自主グループ活動を立ち上げるに至ったグループ（貝津町蛎崎地区；なかよしクラブ）についてのご報告です。

地元の立派な集会所を活用しよう！

活動は参加者と一緒に考え、とにかく楽しい時間を過ごします！ 地域の貴重な交流の場が生まれました！

集いの場立ち上げに向け、発起人・世話人による話し合い、自治会を交えた会議を開きました。協力者の後押しもありました。

令和5年5月、半年程の準備期間を経て集いの場発足！

「**歩いて**行けるところに**集いの場**を」から始まった集いの場づくり。地域高齢者のみならず世代関係なく集える場づくりを目指されています。しかし「**縁側**でのお茶とお漬物」での集まりのように、“肩の力を抜いて**気楽に**取り組もう”を合言葉にまずは集まって**楽しむ**ことを第一に立ち上げに至りました。このように地域や住民の状況に合わせた「**小さな**集い」、小コミュニティーでの集いの場づくりを、「集いの場の**一つのかたち**」として生活支援コーディネーターは、他地域へ情報発信し、第２・第３の「なかよしクラブ」ができるよう取り組んでまいります。

諫早市西部地区生活支援コーディネーター（諫早市西部地域包括支援センター）：北原 國義